震災メモリアル事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

「震災遺構仙台市立荒浜小学校」は被災当時のまま保存・公開。

- 当事業では、過去に津波で大規模な被害を受けた「震災遺構仙台市立荒浜小学校」の保存・公開や、沿岸部地域への玄関口となる施設「せんだい3.11メモリアル交流館」の運営など、東日本大震災の経験と教訓を未来や世界へつなぐ取り組みを行っています。
- また、東日本大震災時の災害対応を経験した職員が減少していく中で、災害の経験を職員間で伝承し、今後起こりうる災害に備え、災害対応力に優れた組織風土を醸成するための取り組みを行っています。

「せんだい3.11メモリアル交流館」では、被災当時からの沿岸部の状況を写真で見ることができる。夏には沿岸部体験プログラムの実施も。

災害の経験に学ぶ
— From 3.11 ガイド —

職員間伝承事業では、当時を知る職員の経験をまとめた資料を作成。災害対応に関する研修等で活用されている。

企業の皆様へのメッセージ

本市では、東日本大震災での被災経験を教訓に、災害に強いまちづくりを目指し、各種事業を行っております。寄付を通じて応援いただけますと幸いです。

担当： まちづくり政策局 防災環境都市推進室　TEL022-214-1117